

大野市教育理念

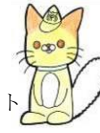
明倫の心を重んじ 育てよう おおのびと 大野人

故郷の 越前おおの



令和4年度 大野市尚徳中学校 スクールプラン

生徒会マスコット しょっぴー



建学の志「徳の道」

学問に親しみ果敢に行動せよ→チャレンジ
喜び合う人との交わりを重んじ→コミュニケーション
もって己の人格を陶冶せよ→チェンジ

学校教育目標

幸福な社会の建設に貢献する生徒の育成

目指す生徒像「夢や目標に向かって努力する生徒」

学：プラス思考で主体的に学ぶ生徒
礼：規律ある行動を積み重ねる生徒
結：感謝と思いやりで協力する生徒

研究主題【主体的・対話的で深い学びを実現する生徒の育成】

～ファシリテーションの視点を生かした授業づくりを通して～

目指す教職員像【愛情あふれ、信頼される教職員】

温かさの中にも厳しさのある指導・支援をする教職員
ファシリテーターとして生徒の成長を促す教職員
共に考え、協力・協働・学び合う教職員
時間を大切にして、校務改善に取り組む教職員

【「主体性」と「対話」を引き出す授業づくり】

- ①生徒がアクティブに思考できるような課題や活動の工夫。
- ②ファシリテーションスキルの向上に努める。
- ③学習の過程での評価や振り返りによる自己評価などを工夫。

【「考える力」をつける作戦】

- ①自分の意見と比べて聞く。相手の意見にプラスして話す。質問する。
- ②習ったことを自分の言葉で言い換えたり、まとめたりする。友達に説明する。
- ③自分の学習方法を振り返り、改善する。

教職員の願い【笑顔あふれる学校】

みんなが安全・安心に活動できる学校
みんなが学力の向上を実感できる学校
みんなが「ありがとう」でつながる学校
みんなが夢を語り合える学校

【生徒の実態】 R2A+B[A] → R3A+B[A]

- ①学校は楽しい 89[51] → 96[62]
- ②みんなで何かをするのは楽しい 88[58] → 97[75]
- ③授業に主体的に取り組んでいる 80[35] → 94[59]
- ④授業がよく分かる 81[38] → 94[46]
- ⑤夢や目標がある 72[30] → 92[73]

今年度の重点目標

安心・安全の確保

- 心の安心の確保
- ・安全教育の推進

学力の向上

- 主体的・対話的で深い学びの充実
- ・知識・技能の習得
- ・思考力・判断力・表現力の向上

社会性の育成

- 生命・人権・規律の尊重
- ・ピア・サポート活動の推進
- ・キャリア教育の充実

家庭・地域・学校との連携

- 幼小中高連携の強化
- ・デジタルシブシティ教育の啓発
- ・地域行事への積極的参加

今年度の具体的な取り組み

- 魅力ある学校（規律・学力・自己有用感）づくりで不登校・いじめを未然防止する。
- いじめアンケート、教育相談でいじめを早期発見・早期解決する。
- ・自分の命を自分で守る実践力を育成する。
- ・実効性の高い各種避難訓練を実施する。
- ・交通ルールの順守を徹底する。

- 「主体性」と「対話」を引き出す授業づくり、「考える力」をつける作戦に取り組む。
- ・授業アドバイザーを招き授業改善を進める。
- ・英語科で習熟度に応じた学習を実施する。
- ICT機器等を効果的に活用する。
- ・セルフアドバンスノートの実践を推進する。
- ・読書タイム、新聞ウィーク等で読書や活字への関心を高める。

- 「笑顔・一生懸命・ありがとう」があふれる集団づくりを進める。
- ・ピア・サポート活動を取り入れた絆づくりを行う。
- ・係、委員会の自治活動を充実させる。
- ・全員が関わり、感動する生徒会行事を行う。
- ・SDGsの取り組みを推進する。

- 校区内の交流を深め、「すこやか尚徳っ子」「尚徳スタイル」の共通実践を進める。
- ・学校再編に向けて連携を強化する。
- ・Society5.0の担い手として、情報や機器を正しく活用するスキルを身につける。
- ・地域活動やCMづくりを通して地域理解と魅力発信を進める。

重点目標に対する数値目標 年度末学校評価アンケートで確認（A+Bの割合）

- ・不登校、いじめの解消 100%
- ・交通ルールを守って登下校している 100%

- ・授業やいろいろな活動の中で、自分の考えを述べる事ができた 80%
- ・タブレット端末を授業で活用できた 100%

- ・自分の本気を出せたときがある 90%
- ・生徒会活動や行事に楽しく参加した 100%

- ・尚徳スタイルを守っている 生徒 100% 保護者 90%
- ・地域に役立つ活動ができた 90%

【業務改善のための取り組み】

- ・リフレッシュデーとLED(Leaving Early Day)を設定し、一人一人が計画的に退勤する。
- ・「アクティブ回覧会議」を推進し、会議時間の短縮を図る。
- ・校時や部活動指導態勢を工夫し、放課後業務時間を確保する。